

2018年 中河内地区「夏の公開研修」報告

講座番号 (⑤)	講座名 「不適切な性行動のある生徒の理解とその指導・支援」
日時	2018年7月31日(火)
講師	大阪府立泉北高等支援学校 指導養護教諭 池川 典子 先生

<講座の様子>

池川先生ご自身の実践と大阪大学大学院 野坂准教授との共同研究から内容を引用し講演をして頂きました。

「性」は「心」が「生きる」こととお話下さいました。性問題行動は満たされない気持ちを埋めようとするもので、感情や認知・コミュニケーションスキルの問題が関わっています。マズローの欲求段階説を参考にしながら、教師・保護者が様々に関わり、段階に応じた欲求を満たす必要があります。子どもに体や性についての知識を深めさせ、自分や相手の気持ちを考えることや清潔で規則正しい生活習慣を確立させること、適切な人間関係を築くスキルやルールを獲得させることが、不適切な性行動のある生徒への手立てとなるのです。

また、指導・支援を行う際の学校の体制づくりについてアドバイスを頂きました。教職員で問題意識を共有すること、個別の対応を位置づけること、定期的に事例検討・研修を実施することが大切だとのことでした。児童・生徒が自分の考え方に気づき、より現実的で前向きな考え方に切り替えられるように学習を進めたいものです。気持ちの学習や支援を考える時には、自分のからだや気持ちを大切にしてもらふ経験が土台となります。そこから、自分のからだや気持ちを理解して大切に、他者や自分のよりよい人間関係をはぐくむ力を身に付けられるように、性教育を積極的に広い視点で実践していかなければなりません。

講義の後半には、下記のような質疑応答がありました。具体的で2学期から取り組めるような内容を紹介して頂き、大変勉強になりました。

質疑応答の内容

Q1. 性教育の具体的な内容。

A. 清潔学習、沐浴体験、身だしなみ講習会、「どう思いますか」(ドコモHP掲載資料)、その他の泉北高等支援学校HP掲載教材(下記参照) などがあります。

Q2. 支援学級に在籍する小6男子児童について、性情報また精通・射精への対処方法。

A. 身のまわりには相手を傷つけるような誤った性情報があることを伝えます。また、同性の教師から射精や自慰について行う場所や時間、方法を具体的に示しましょう。



